

ハリス理化学館同志社ギャラリー第13回企画展

弥生・古墳 集落と モノ作り

西山2号墳出土三角縁神獸鏡
(古墳時代前期)
[同志社大学歴史
資料館所蔵]



田辺天神山遺跡出土土器
(弥生時代後期)
[同志社大学歴史資料館所蔵]

～京都盆地・淀川流域を中心に～

2017年

10月14日(土)—12月3日(日)

場所：ハリス理化学館同志社ギャラリー2階企画展示室
(同志社大学今出川校地／京都市営地下鉄今出川駅下車)

開館時間：10時～17時 休館日：月曜日・祝日

主催：同志社大学歴史資料館

入場無料

弥生・古墳 集落と モノ作り

～京都盆地・淀川流域を中心に～



高宮八丁遺跡出土鉄未成品(弥生時代)
[寝屋川市教育委員会所蔵]



森遺跡 錫冶炉(古墳時代後期) 復原品 [交野市教育委員会所蔵]



高宮八丁遺跡出土管玉と未成品(弥生時代) [寝屋川市教育委員会所蔵]

同志社大学歴史資料館では、2012～2016年度にかけて、「木津川・淀川流域における弥生時代～古墳時代集落・墳墓の研究」を課題として、第4期南山城総合学術調査を行いました。この事業は2013～2016年度の文科省科学研究費助成事業の一環でもあります。

この研究事業の成果として、弥生時代前・中期には個別的日用品生産(木器など)と特殊生産(青銅器・玉類など)の組み合わせがあること、古墳時代にはムラによる工程の違いをもった鉄器生産へ移り変わることなどが、集落立地の変化や墳墓の形成と連動して把握できることが明確となりました。

そこで、今企画展では、本学の所在する京都盆地とそれに連なる淀川流域の弥生～古墳時代遺跡の発掘調査成果の例をもとに、手工業生産の実態を軸に、実際の出土考古資料を比較する展示をおこないます。

それにより、発掘調査出土資料により、古代国家形成を考えることの意義や京都盆地や淀川流域の特質を示し、本学の位置する京都の歴史的環境・背景について考えることも企画展の目的です。

●主要展示品(予定)

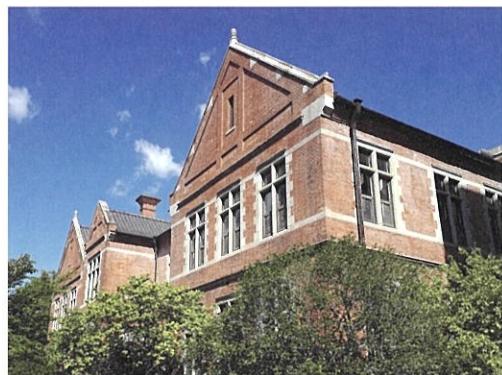
京都市下鳥羽遺跡出土弥生前期土器、同市西京極遺跡出土弥生後期土器・鍛冶関連遺物・玉類、城陽市西山2号墳出土古墳前期三角縁神獸鏡・四獸鏡・石釧・鉄製品、京田辺市田辺天神山遺跡出土土器・銅釦・鉄器、寝屋川市高宮八丁遺跡出土弥生中期土器・木製品・玉類製作関連品、茨木市東奈良遺跡出土弥生中期青銅器鋳造用高杯形土製品・土製送風管、枚方市星丘遺跡出土弥生後期鉄器片・鍛冶関連遺物、交野市森遺跡出土古墳時代須恵器・土師器・フイゴ羽口・鉄滓、同市交野東車塚古墳出土鉄製品・玉類ほか



西山2号墳出土銅鏡
(古墳時代前期)
[同志社大学歴史資料館所蔵]



西山2号墳出土鉄斧
(古墳時代前期)
[同志社大学歴史資料館所蔵]



ハリス理化学館同志社ギャラリー



バス停留所 地下鉄出入口

関連講演会

事前申込不要
入場無料

日時：10月29日(日) 13時30分～16時30分

場所：同志社大学今出川キャンパス良心館107教室

内容：真鍋成史氏(交野市教育委員会)

「京都盆地・淀川流域の弥生～古墳時代の金属器生産」

古川匠氏(京都府教育委員会)

「山城地域の前・中期古墳と集落の動態」

若林邦彦(同志社大学歴史資料館准教授)

「趣旨説明「ムラ立地から古代国家形成を考える」」

会期：2017年10月14日(土)～12月3日(日) 主催：同志社大学歴史資料館

場所：ハリス理化学館同志社ギャラリー2階企画展示室(同志社大学今出川キャンパス)

京都市上京区今出川通烏丸東入ル・京都市営地下鉄今出川駅下車徒歩3分

10～17時開館 月曜日・祝日休館

お問合せ先：同志社大学歴史資料館 0774-65-7255 同志社ギャラリー事務室 075-251-2716

同志社ギャラリーホームページ：<http://harris.doshisha.ac.jp/>